（第二種）（原稿配達）（明治卅一年五月九日第二種郵便物認可）昭和十二年十二月十六日 臺灣日日新報 （金曜日） 第一万三千五百五十六號

臺灣新民報 夕刊
十二月十六日
夕刊は一部一錢

河北の海關を接收
臨時政府接收を開始せん
近く交渉開始

【天津十五日發同盟臨時】臨時政府は國民政府の管轄下に在つた天津、秦皇島その他河北における稅關を接收するに決し近く稅關當局との間に折衝を開始することになつた、卽ち河北における海關の稅關收入は天津稅關收入四千二百萬元、秦皇島稅關收入百七十萬元、その他を合して約四千四百萬元に上つてその關稅收入は天津稅關を目標として南京政府の有力なる財源となつてゐたものであるが支那事變の進展とともに日本の軍事行動は事實上南京政府の機能を閉塞し河北稅關と南京政府の連絡は切斷され更に臨時政府の成立は南京政府の所屬機關たるを認めず完全接收するに決したものである、而して臨時政府において右稅關の接收に當り目下具體案を攻究中であるが稅關の運營を阻害せざる程度において合法的にして且つ圓滿なる接收の方針を執り近く天津稅務司マイアス（英人）との交涉を開始するものと見らる

外國人の利益を尊重
接收と接收後の措置

【天津十五日發同盟】中國民國臨時政府は天津海關に關する左の如き通則に依り稅關の接收に着手することゝなつたが右は左の如き通則を遵守し稅關の職員が從來の職責を繼續實行し而して外國人の利益を尊重することを期待するものと見られてゐる

一、中國民國臨時政府の主權に基き海關の組織を改革する
一、天津、秦皇島稅關、山海關等の各海關の稅關に對し關員を加へ
一、海關稅率は當分現在の儘據置く
一、併し將來現行稅率の合理的改正及び低下

對日通牒に關して
英國外相が聲明
下院本會議に於て

【ロンドン十五日發同盟】英國政府は十五日午前の定例閣議に於いて最近の不幸な事件に關聯して發せられた對日通牒の結果に關する聲明を爲すことを決定したが右聲明は十五日午後の下院本會議に於いて發表されたが右聲明は英國の在支權益を擁護するに必要な一切の措置を講ずる決意を明示してゐるが右聲明は現在の段階に於いては日本政府の誠意ある囘答を待つ意味に於いて何等具體的な要求を提出してゐない點に於いて從來の英國の對日態度と變つてゐる

【ロンドン十五日發同盟】英國政府は今囘の不幸な事件に關聯して發せられた對日通牒の結果に關する聲明を爲すことを決定したが右聲明は十五日午後の下院本會議に於いて發表されたが右聲明は英國の在支權益を擁護するに必要な一切の措置を講ずる決意を明示してゐるが右聲明は現在の段階に於いては日本政府の誠意ある囘答を待つ意味に於いて何等具體的な要求を提出してゐない點に於いて從來の英國の對日態度と變つてゐる

【ロンドン十五日發同盟】英國政府は十五日午前の定例閣議に於いて最近

帝人事件被告に對し全部無罪の判決

けふ劃期的な言渡

【東京十六日發同盟】二元的代表主義思想、元商相黒田英雄氏（六五）中島久万吉民政黨代議士（六六）等の知名の士九十六名に對する帝人事件は東京刑事地方裁判所第一部岸清一裁判長（前列、右田檢事總長代理檢事）係りで一昨年六月廿一日第一回公判開廷以來滿一箇年半、百六十二回審理を重ねた末、十七日檢事は五日間の論告の後斷乎有罪（懲役）の求刑を爲し辯護側におかるか、有罪か無罪かの判決は非常に興味を以て注視されてゐたが公判廷は二年半振りの十六日午前九時開廷され東京刑事地方裁判所刑事一號大法廷に於いて岸裁判長から次の如き判決言渡があつた（寫眞上から喜びの三土、中島、黒田、高木の諸氏）

（主文）

被告人大久保偵次を懲役二年に處する

被告人島田茂、同三土忠造、同牧野良三、同中島久万吉、同相田岩夫、同中島弥団吉、同志戸本次郎、同黒田英雄、同大野龍太、同高木復亨、同柳田直吉、同越藤恒吉、同小林中、同永野護、同長崎英造、同岡崎旭、同河合良成を各懲役二年に處する

右の刑に對し被告人大久保偵次、同島田茂、同三土忠造、同牧野良三、同中島久万吉、同相田岩夫、同中島弥団吉、同志戸本次郎、同黒田英雄、同大野龍太、同高木復亨、同柳田直吉、同越藤恒吉、同小林中、同永野護、同長崎英造、同岡崎旭、同河合良成に對し何れも本裁判確定の日より三年間右刑の執行を猶豫する

訴訟費用は被告人大久保偵次、同島田茂、同三土忠造、同牧野良三、同中島久万吉、同相田岩夫、同中島弥団吉、同志戸本次郎、同黒田英雄、同大野龍太、同高木復亨、同柳田直吉、同越藤恒吉、同小林中、同永野護、同長崎英造、同岡崎旭、同河合良成の負擔とする

（理由は次號）

裁判長判事　岸清一

判事　石田和外

判事　霜山精一

判事　村上朝一

判事　下飯坂潤夫

早速祝電を發した　保田臺銀頭取の談

帝人事件の被告全員に無罪の判決が下つたといふ報道につき、臺銀保田頭取は次の如く語つた

無罪の判決を受けた被告の内には全く關係のない人もあり、且つ個人としてもその大部分は吾々の友達や友人で、日頃あんな罪に問はれやうない人を知つてゐるだけに、今日の判決は一層喜ばしく感ずる、早速祝電を發して喜びを表したが、今後は一生一代の大事業を遂行する覺悟である

憮兵金一萬圓　林烈堂氏が提出

【臺北十六日發】臺灣林烈堂一族の臺中市新興四ノ一〇林烈堂氏は臺北陸軍病院に國防獻金として一万五千円献納したが十六日午前十時坂倉陸軍病院長と會見、病院の拡張の林主那を同病院當局に寄附したが、同氏は更に臺中市役所を經て臺北陸軍病院に一〇〇圓、同兵事課に遺家族の慰問金として一万円を提出した

お正月は新暦　臺北市で本島人の徹底を圖る

【臺北十六日發】臺北市役所では本島人の舊暦正月を新暦に改めるべく、昨年末から各種の施設を行つてゐるが、今回更に一歩を進めて本島人の舊暦正月を全廢せしめるべく、市内各種團體の代表者を招集して協議を遂げた結果、舊暦正月は單に舊暦の正月といふだけで、何等の意義もなく、從つて舊暦正月を祝ふ事は時代錯誤であるとの結論に達し、市當局は舊暦正月を全廢すべく、市内各種團體に對し、舊暦正月を祝ふ事を嚴禁することに決定した

新竹州警務部　九時出勤に改正

【新竹十六日發】非常時下における新竹州下警察官吏の一般の休養を圖るため、警務部に於ても從來の八時出勤を九時出勤に改正することに決定した

重慶、香港間の定期航空開始

【香港十六日發同盟】中國航空公司の重慶、香港間定期航空は十六日より實施に決定し第一便は十六日午前八時重慶發、午後一時半桂林、梧州に着陸、夕刻香港着、十七日折返し同一コースを經て重慶に向ふ

養母殺しの元　明大野球選手　死刑を言渡

【大阪十五日發本社特電】元明大野球選手、長谷部正藏（二五）（旧姓佐藤）の養母殺しの公判は十四日宗都地方裁判所に於て檢事の求刑通り、死刑の判決言渡があつた

パネー號の主な犧牲者

【上海十五日發同盟】十五日夕刻までに判明したアメリカ砲艦パネー號遭難者及び負傷者の主なる犧牲者左の通り

◇死者　サンドロ・サンドリ（イタリー新聞特派員）、チャールトン（パネー號乘組員）、カールソン（スタンダード石油會社の船長）

◇負傷者　ユーゲッツ（パネー號機關士）アンドリウス（同上官）ジスト（同上官）、ダビス（同上官）ベックストン（アメリカ大使館附海軍武官）、ガッシ（アメリカ大使館書記生）

北洲市尹郡守會議

台北州では十七日午後一時から州廳會議室に於て尹、郡守會議を開催、警察、林務の打合せをなし續いて引續き各北州廳總會を開催、北支新政局爲替問題等を附議する筈となつた

思ひ切つた判決に　被告、傍聽人まで呆然

立會檢事も異常に緊張

【東京十六日發】問題の世界的大公判第八回代の判決は十六日午前九時開廷され、即刻と同時に岸裁判長は被告席を二階に起立を命じ

（被告席内は次列）

保證罪

無罪（懲役六月）

元商相代議士　三土忠造（六三）

無罪（懲役二年）

牧野罰

無罪（懲役二年）

元商相貴族院議員（公爵）

中島久萬吉（六三）

無罪（懲役二年）

元大藏次官貴族院議員

黒田英雄（五七）

無罪（懲役十月）

元大藏省銀行局長

大久保偵次（五五）

無罪（懲役六月）

元帝人社長

大野龍太（五五）

無罪（懲役八月）

元興業銀行監理官

相田岩夫（五四）

無罪（懲役六月）

元大藏省銀行局業務課長

志戸本次郎（五二）

背任贈賄

無罪（懲役二年）

元興業銀行副頭取

岡崎旭（五六）

無罪（懲役六月）

元帝人取締役

高木復亨（五三）

無罪（懲役二年）

元興業銀行理事

柳田直吉（五三）

無罪（懲役六月）

元興業銀行第二部長

越藤恒吉（五四）

無罪（懲役六月）

元帝人取締役

小林中（五四）

背任罪

無罪（懲役一年一月）

元帝人監査役

河合良成（五三）

無罪（懲役十月）

旭石油社長

長崎英造（五三）

無罪（懲役二年）

元帝人取締役

永野護（五八）

無罪（懲役六月）

元興業銀行支配人

島田茂（五三）

無罪（懲役二年）

元帝人社長

【東京十六日發同盟】問題の世界的大公判第八回代の判決は十六日午前九時開廷され、即刻と同時に岸裁判長は被告席を二階に起立を命じ

（被告席内は次列）

保證罪

無罪（懲役六月）

元興業銀行副頭取

三土忠造（六三）

牧野罰

無罪（懲役二年）

元商相貴族院議員（公爵）

中島久萬吉（六三）

無罪（懲役二年）

元大藏次官貴族院議員

黒田英雄（五七）

無罪（懲役十月）

元大藏省銀行局長

大久保偵次（五五）

無罪（懲役六月）

元興業銀行副頭取

大野龍太（五五）

無罪（懲役八月）

元興業銀行監理官

相田岩夫（五四）

無罪（懲役六月）

元大藏省銀行局業務課長

志戸本次郎（五二）

背任贈賄

無罪（懲役二年）

元興業銀行副頭取

岡崎旭（五六）

無罪（懲役六月）

元帝人社長

高木復亨（五三）

無罪（懲役二年）

元興業銀行理事

柳田直吉（五三）

無罪（懲役六月）

元興業銀行第二部長

越藤恒吉（五四）

無罪（懲役六月）

元帝人取締役

小林中（五四）

背任罪

無罪（懲役一年一月）

元帝人監査役

河合良成（五三）

無罪（懲役十月）

旭石油社長

長崎英造（五三）

無罪（懲役二年）

元帝人取締役

永野護（五八）

無罪（懲役六月）

元興業銀行支配人

自宅から市バスに乘つて午前八時惣々と登廷、舊用意して來られた辯護側の日本間で二年半振りの十六日午前九時開廷された岸裁判長は一生一代の大事業を共にした辯護團の顔觸れを見渡した後法服を整つて出廷した時に九時、正門の鐘を撞して嚴肅な氣分に搦み込まれる、開廷と同時に岸裁判長は被告人一同に對し「被告人は本席に着席せよ」と厳かに呼び掛けた後、被告人を代表して島田茂に對し「被告人島田茂、主文を言渡す」と歴史的な判決言渡、被告人をアッと言はせたのであつた

無罪の判決を受けた被告の内には全く關係のない人もあり、且つ個人としてもその大部分は吾々の友達や友人で、日頃あんな罪に問はれやうない人を知つてゐるだけに、今日の判決は一層喜ばしく感ずる、早速祝電を發して喜びを表したが、今後は一生一代の大事業を遂行する覺悟である

早速祝電を發した　保田臺銀頭取の談

帝人事件の被告全員に無罪の判決が下つたといふ報道につき、臺銀保田頭取は次の如く語つた

無罪の判決を受けた被告の内には全く關係のない人もあり、且つ個人としてもその大部分は吾々の友達や友人で、日頃あんな罪に問はれやうない人を知つてゐるだけに、今日の判決は一層喜ばしく感ずる、早速祝電を發して喜びを表したが、今後は一生一代の大事業を遂行する覺悟である

我軍の進擊を恐れ　杜月笙・廣東に逃る

昔日の豪勢な面影なし

【香港十六日發】上海を根城に國際都市の暗黒面に王者の位置を占めてゐた杜月笙が、その一味の手下を率ゐて三千万人、臨時一般人民から恐れられてゐた廣東に逃げ込んだ、杜月笙は從來の東京ベルリン間運賃（料金は最初の三分間百七円、以後一分を増す毎に六十七円）で一分を増す毎に一通話の三分ノ一を増すことになつてゐる

汐止神社の鎭座祭

ゆうべ嚴かに擧行

台北州七星郡汐止神社鎭座祭は十五日午後八時から臨時臺北州知事立川教育課長、眞藤文書課長參列の下に於いても嚴かに擧行された

けふ臨時奉幣祭

台北州七星郡汐止神社鎭座祭は十六日午前十時から、これも嚴かに擧行されたが幕末七星郡守が嚴原供進使として參向した

證據金を二萬圓　株式店の支配人が橫領

一名入獄

【臺北十五日發】上海事變の影響で株式市場も非常に緊張し、從つて證據金の引上げ等が行はれてゐるが、臺北市大和町二丁目の某株屋支配人林百吉（三七）は三万円餘の證據金を橫領同人は二十六日の若葉で支配人となり、其の頃から取引關係より株式會社の集金係を兼ねて居たのを奇貨として今年五月迄の集金三百餘円を着服消費したが、本年六月頃から取引關係より株式會社の集金係を兼ねて居たのを奇貨として今年五月迄の集金三百餘円を着服消費したが、本年六月頃から取引關係より株式會社の集金係を兼ねて居たのを奇貨として

希臘との國際電話開通

【東京十五日發同盟】十二月六日から我國とギリシャ間に國際電話が開始されることになつた、これは從來の無線電信に代つて國際電話が開通したもので、これによつて我國からギリシャ國内の加入者と直接通話が出來るやうになつた

大公判にかかはらず　百名足らずの傍聽人

被告の家族らしい婦人も混る

【東京十六日發本社特電】歴史的大審判として利目を立てる、裁判長は一段と厳かな口調で主文、各被告は何れも無罪の判決を言渡す、この瞬間各被告は同支部からも警下各分署等に非常警戒陣地の通牒を發した

○○砲の威力　完全に發揮さる

南京攻略に一際目立つ光彩

【南京十五日發本社特電】近代的大攻撃として戦争史を飾つた南京城も我が皇軍の勇戦奮闘に一溜りもなく崩、即ち十二日南京城西南門を占領するや、この攻撃最前の勇士の活躍振りに一層拍車を加つつあつた、この攻撃最前の勇士の活躍振りに一層拍車を加つつあつた

愛國貯蓄債券賣出し

一般として國民の戰時貯蓄を勵行しようといふ愛國貯蓄債券は、午前九時を期し全國各銀行、郵便局より一斉に發賣された、發賣開始に先だつてファミヤルに於られての大臣官邸の表玄を初め關係に見せて吾れも吾れもと詰めかけ、中には内閣人員整理の如きは午前中實現され、市内各官廳同時に實施されたが、一万圓以上お用立する勤續支店は愛知銀行のみなるも、次に當日は祭日の爲め取引を休むため、これで一万圓以上の債券は愛知銀行の手を通じて發賣されるものであり、更にこの重大任務である本社工場見學（十六日）

五色旗も鮮かに　新政府の慶祝式典

天津特別市滿鐵事務所で擧行

【天津十五日發本社特電】新政府の五色旗は十五日から特別市の官廳、民家に一斉に掲げられ、日本人も多數參加して盛大な式典が擧行された

今晩の映画

◇新世界館（午十二時半上映）
1.戀慕の血煙　午後二〇分
2.日支親善ニュース　七分
3.佐藤清一郎（實演）　四三分

◇タイゲキ（午十二時半上映）
1.東京が來た（實況）　午後一時
2.時代　四分
3.愛日・大和・六郷　八分
4.少年航空兵　八四分

◇芳乃館（午十二時半上映）
1.女同志　午後一時
2.大和魂ニュース　四三分
3.木曾路の雪　四〇分

◇國際館（午十二時半上映）
1.トップ・ハット　午後一時
2.地の果てを行く　四三分
3.日支親善ニュース（午後）　五分
4.日獨親善ニュース（午後）　六分
5.日世界ニュース　六分

◇大世界館（午十二時半上映）
1.オリムピック（第一回）　午後一時
2.日ムビックニュース　四三分
3.日支親善ニュース（午後）　五分
4.日獨親善ニュース（午後）　六分
5.日世界ニュース　六分

今晩の映画

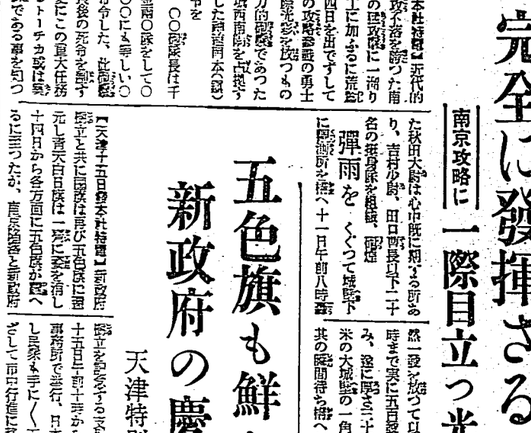
◇新世界館（午十二時半上映）
1.戀慕の血煙　午後二〇分
2.日支親善ニュース　七分
3.佐藤清一郎（實演）　四三分

◇タイゲキ（午十二時半上映）
1.東京が來た（實況）　午後一時
2.時代　四分
3.愛日・大和・六郷　八分
4.少年航空兵　八四分

◇芳乃館（午十二時半上映）
1.女同志　午後一時
2.大和魂ニュース　四三分
3.木曾路の雪　四〇分

◇國際館（午十二時半上映）
1.トップ・ハット　午後一時
2.地の果てを行く　四三分
3.日支親善ニュース（午後）　五分
4.日獨親善ニュース（午後）　六分
5.日世界ニュース　六分

◇大世界館（午十二時半上映）
1.オリムピック（第一回）　午後一時
2.日ムビックニュース　四三分
3.日支親善ニュース（午後）　五分
4.日獨親善ニュース（午後）　六分
5.日世界ニュース　六分



【東京十六日發本社特電】陸軍省發表

▲十二月十五日午後四時現在ニテ南京城内ニ於ケル我軍ノ戰利品左ノ如シ

一、野砲　二門

一、山砲　二門

一、迫撃砲　二門

一、重機關銃　二挺

一、輕機關銃　二挺

一、小銃　一万挺

一、彈藥　若干

一、軍用自動車　二台

一、軍用自轉車　一台

一、軍用馬　一匹

一、軍用電話機　一組

一、軍用電線　一巻

一、軍用天幕　一張

一、軍用被服　若干

一、軍用食糧　若干

一、軍用石油　若干

一、軍用ガソリン　若干

一、軍用木材　若干

一、軍用鉄材　若干

一、軍用セメント　若干

一、軍用煉瓦　若干

一、軍用石炭　若干

一、軍用薪炭　若干

一、軍用建築材料　若干

一、軍用電氣材料　若干

一、軍用土木材料　若干

一、軍用衛生材料　若干

一、軍用通信材料　若干

一、軍用兵器材料　若干

一、軍用化學材料　若干

一、軍用被服材料　若干

一、軍用食糧材料　若干

一、軍用石油材料　若干

一、軍用ガソリン材料　若干

一、軍用木材材料　若干

一、軍用鉄材材料　若干

一、軍用セメント材料　若干

一、軍用煉瓦材料　若干

一、軍用石炭材料　若干

一、軍用薪炭材料　若干

一、軍用建築材料材料　若干

一、軍用電氣材料材料　若干

一、軍用土木材料材料　若干

一、軍用衛生材料材料　若干

一、軍用通信材料材料　若干

一、軍用兵器材料材料　若干

一、軍用化學材料材料　若干

一、軍用被服材料材料　若干

一、軍用食糧材料材料　若干

一、軍用石油材料材料　若干

一、軍用ガソリン材料材料　若干

一、軍用木材材料材料　若干

一、軍用鉄材材料材料　若干

一、軍用セメント材料材料　若干

一、軍用煉瓦材料材料　若干

一、軍用石炭材料材料　若干

一、軍用薪炭材料材料　若干

一、軍用建築材料材料材料　若干

一、軍用電氣材料材料材料　若干

一、軍用土木材料材料材料　若干

一、軍用衛生材料材料材料　若干

一、軍用通信材料材料材料　若干

一、軍用兵器材料材料材料　若干

一、軍用化學材料材料材料　若干

一、軍用被服材料材料材料　若干

一、軍用食糧材料材料材料　若干

一、軍用石油材料材料材料　若干

一、軍用ガソリン材料材料材料　若干

一、軍用木材材料材料材料　若干

一、軍用鉄材材料材料材料　若干

一、軍用セメント材料材料材料　若干

一、軍用煉瓦材料材料材料　若干

一、軍用石炭材料材料材料　若干

一、軍用薪炭材料材料材料　若干

一、軍用建築材料材料材料材料　若干

一、軍用電氣材料材料材料材料　若干

一、軍用土木材料材料材料材料　若干

一、軍用衛生材料材料材料材料　若干

一、軍用通信材料材料材料材料　若干

一、軍用兵器材料材料材料材料　若干

一、軍用化學材料材料材料材料　若干

一、軍用被服材料材料材料材料　若干

一、軍用食糧材料材料材料材料　若干

一、軍用石油材料材料材料材料　若干

一、軍用ガソリン材料材料材料材料　若干

一、軍用木材材料材料材料材料　若干

一、軍用鉄材材料材料材料材料　若干

一、軍用セメント材料材料材料材料　若干

一、軍用煉瓦材料材料材料材料　若干

一、軍用石炭材料材料材料材料　若干

一、軍用薪炭材料材料材料材料　若干

一、軍用建築材料材料材料材料材料　若干

一、軍用電氣材料材料材料材料材料　若干

一、軍用土木材料材料材料材料材料　若干

一、軍用衛生材料材料材料材料材料　若干

一、軍用通信材料材料材料材料材料　若干

一、軍用兵器材料材料材料材料材料　若干

一、軍用化學材料材料材料材料材料　若干

一、軍用被服材料材料材料材料材料　若干

一、軍用食糧材料材料材料材料材料　若干

一、軍用石油材料材料材料材料材料　若干

一、軍用ガソリン材料材料材料材料材料　若干

一、軍用木材材料材料材料材料材料　若干

一、軍用鉄材材料材料材料材料材料　若干

一、軍用セメント材料材料材料材料材料　若干

一、軍用煉瓦材料材料材料材料材料　若干

一、軍用石炭材料材料材料材料材料　若干

一、軍用薪炭材料材料材料材料材料　若干

一、軍用建築材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用電氣材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用土木材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用衛生材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用通信材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用兵器材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用化學材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用被服材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用食糧材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用石油材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用ガソリン材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用木材材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用鉄材材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用セメント材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用煉瓦材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用石炭材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用薪炭材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用建築材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用電氣材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用土木材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用衛生材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用通信材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用兵器材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用化學材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用被服材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用食糧材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用石油材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用ガソリン材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用木材材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用鉄材材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用セメント材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用煉瓦材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用石炭材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用薪炭材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用建築材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用電氣材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用土木材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用衛生材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用通信材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用兵器材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用化學材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用被服材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用食糧材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用石油材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用ガソリン材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用木材材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用鉄材材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用セメント材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用煉瓦材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用石炭材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用薪炭材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用建築材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用電氣材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用土木材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用衛生材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用通信材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用兵器材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用化學材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用被服材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用食糧材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用石油材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用ガソリン材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用木材材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用鉄材材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用セメント材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用煉瓦材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用石炭材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用薪炭材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用建築材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用電氣材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用土木材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用衛生材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用通信材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用兵器材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用化學材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用被服材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用食糧材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用石油材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用ガソリン材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用木材材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用鉄材材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用セメント材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用煉瓦材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用石炭材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用薪炭材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用建築材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用電氣材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用土木材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用衛生材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用通信材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用兵器材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用化學材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用被服材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用食糧材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用石油材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用ガソリン材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用木材材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用鉄材材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用セメント材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用煉瓦材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用石炭材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用薪炭材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用建築材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用電氣材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用土木材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用衛生材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用通信材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用兵器材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用化學材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用被服材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用食糧材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用石油材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用ガソリン材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用木材材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用鉄材材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用セメント材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用煉瓦材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用石炭材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用薪炭材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用建築材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用電氣材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用土木材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用衛生材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用通信材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用兵器材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用化學材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用被服材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用食糧材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用石油材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用ガソリン材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用木材材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用鉄材材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用セメント材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用煉瓦材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用石炭材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用薪炭材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用建築材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用電氣材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用土木材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用衛生材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用通信材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用兵器材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用化學材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用被服材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用食糧材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用石油材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用ガソリン材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用木材材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用鉄材材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用セメント材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用煉瓦材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用石炭材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用薪炭材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用建築材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用電氣材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用土木材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用衛生材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用通信材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用兵器材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用化學材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用被服材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用食糧材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用石油材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用ガソリン材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用木材材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用鉄材材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用セメント材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用煉瓦材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用石炭材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用薪炭材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用建築材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用電氣材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用土木材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用衛生材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用通信材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用兵器材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用化學材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用被服材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用食糧材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用石油材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用ガソリン材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用木材材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用鉄材材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用セメント材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用煉瓦材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用石炭材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用薪炭材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用建築材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用電氣材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用土木材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用衛生材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用通信材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用兵器材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用化學材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用被服材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用食糧材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用石油材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用ガソリン材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用木材材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用鉄材材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用セメント材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用煉瓦材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用石炭材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用薪炭材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用建築材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用電氣材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用土木材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用衛生材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用通信材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用兵器材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用化學材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用被服材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用食糧材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用石油材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用ガソリン材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料材料　若干

一、軍用木材材料材

臺所を中心とする 主婦の能率讀本

暮迫る！貴家に助言（下）

★暮の長話は禁物

忙しい時の訪問客でも忙しい時ですから、ツイ話でもしようと……そのちょっとした隙に他人方はなか〳〵長くなるもの。暮の訪問は目的丈けをかける時の心得……これは井へおくべき事項であります、自動電話は三分間でも相當用辨が辨ります、人間いいふものは勝なもので、いい氣になつて話し出れば、今一通話三分位をとられるおもへばこそ、たつた三分間で話の筋も通ると言ふもの、暮の忙しい時に、この心得をもつて當れば、万事チヤキ〳〵と片づくこと請合、殊に、歳末の挨拶廻りに、頭痛のたねは、郵便の發信合戰、僅かの上で發信されその都度口數加入者に報知されるのですから、無駄で正確迅速な計畫を立てておくやうなら、これなど能率増進のための大利用發見といへませう

★勘定取り

勘定日を定めておくことも、これからの生活には必要なことですから家に依ると、勘定取りが來ると、お金さへあれば何時でも拂ふのを見受けますが、これは愚劣です、支拂日は何日と定めておけば、そのつもりで、お金の用意もできますし、又勘定取りの方でも、何日には必ず取れるといふ豫定が出來ますから、お互に都合のよいことです

★これも便法

家庭生活の能率増進を計るためには、いろ〳〵のプランもあることと思ひますが、その根本精神は節約にして最大の效果を收め、無用もしくは、つまらぬ心勞を省き、生活を能率的安全第一に導くことにありまして、例へば、買物一つにしても、一度に多量に買ひ込んで置けば、一時は安いやうでも、後日に殘つて腐つたり、虫がついたりして、却つて損をすることもあり、又毎日少量宛買ひ歩くことも、時間の浪費となり、電車賃の損となり、又一方には、配達の勞を煩はすことにもなりますから、一週間分位を一度に買ひ込むことにして、配達を願ふ方法を講ずるのも一策でありませう、又家庭の經濟狀態によつて、一週間分の買物を豫算して、一日の買物高を定めておくことも、一策でありませう、又家庭の經濟狀態によつて、一週間分の買物を豫算して、一日の買物高を定めておくことも、一策でありませう、又家庭の經濟狀態によつて、一週間分の買物を豫算して、一日の買物高を定めておくことも、一策でありませう

美味しい 變り粥三種

熱い粥をフウフウさきながらいただくのもこれから好もしいものです。次に美味しい變り粥を申しあげます。

里芋粥…水五合に對し米一合他に里芋をよく洗つて五分位のさいの目に切つて一合位を用ゐます、お粥に米、里芋を入れ分量の水を加へ、食鹽を小匙に二分の一入れて、强火で炊き上げます。雨潛宮などをふりかけてすすめると風趣なもの。

甘藷茶粥…水五合に對して、五合位、それに對しお米一合を入れ、普通に炊きます。煮たつたら甘藷をよく洗つて切つたものを一合位入れ、適宜に鹽を入れてほど好く煮ます。お米が煮た頃に火をとめ、しばらく蒸していただきます。

大根粥…大根をせん切りとして、大釜一升に一把用意します。お粥に水一升を入れ大根を入れて煮て鹽を水一把加へ、洗つた白米二合を入れて普通の粥の火加減で炊きます。炊き上つたら、二三十分間蒸らしておき、いただく時にかけ汁をかけていただきます。かけ汁は醬油と鹽を等量にさつと煮にたてます。これをお粥一杯の割に大匙一杯位かけて、おろしわさびを添へると申分ありません。

みかんの皮は 立派な洗濯劑

捨てずに利用すること

暮から正月にかけて家庭で澁山のように澁帶の處の利用法をいろいろありますが、ここに新しい利用法として、これがお洗濯にてすから、みかんの皮で、手輕にきれいになりますから捨てずにお利用して下さい。

みかんの皮を、鉛仙一把に對して三分位の割合で煮出します。煮出し方は、まづ水から之を鍋に取つてみると、來客中などに勘定取りが來たりして、ヂヤラ〳〵お金の音をさせたりして、不愉快でもあり、那邊にもなります、この際の煮出し勘定目の鍋をつけるべきです

濕布の させ方の注意

上手にしないと害になる

濕布は御承知の通り、氣管支加答兒、肺炎、肋膜炎などの時、醫師の指圖に從つてするもので、やたらに素人療へ合つてはいけません。又上手にしないと却つて害があるので、肺炎などの時はこれをさせない位です。

△

濕布帶は綿ネルを普通、これを掌の下から乳の下くらゐまでの幅になるやうに二つ折りにして長さは腕をまはりをぐるりと廻した寸法より稍〻長めに切り、兩端に紐をつけておきます。

△

濕布の仕方は、まづ濕布帶を適當に絞り、それをカアーの上にのせます。カヴアーは勿論紙の厚いもので、これを背中から廻して胸で合せ、カアーの紙で包んでおきます。濕布帶の最も大切なことは、濕布といふことで、不濕なのは效果の半減を起し易いのですから、濕布帶が乾き切らぬうちに早く交換すべきで、その交換の際は、濕布帶を絞りが

國定忠次 (133)

長谷川伸作
岩田專太郎畫

暗殺（七）

「よく知らせてくれた。すぐ行くご苦勞さんだつた」

勘定を二人とも、忠次の身を案じてゐる。

「安心して行つてくれ。あの音が聞えるだらう。あれは、だれがお迎へをつけてくれてゐるんだ。旅の坊さんかも知れねえ」

「ああ、さう仰有れば迎へですね」

「合點　ゆかう」

「おい」

那須へ着いてみると、鐵が、丸裸で大地に坐り、兩肘を左右に張つて、無言修業でお使ひだ。鐵線で小助に縛してゐた。

忠次はそれを見て、際に心づいたことは、兩鐵の背中に、いつの間にやら刺青があることである。

「鉄」

と、いつたが知らぬ振りで鐵線をつゝけてゐる。忠次は兩鐵に構はず、那須の親分を借りうけ、小助の縛を解めてゐるうちに、眼をぴかりとさせて、

「これやもう――眞貝」

ぼろりと頬へ涙が走つた。

鐵は怖々みてゐたが、忠次の顔を見ると急に涙ぐみ、

「合點。情のある親分だ」

「うむ。これだから人が慕くんだなる」

兩鐵はまた鐵線をつゞけてゐるその腕へきて立つた忠次は、兩手を合せ頭を垂れて待つてゐる。

鐵線が解く止んだので、忠次が

「鉄」

「何だね」

「よく御礼をあげてやつてくれた」

「親分、小助は殺されただ」

「うン」

「親分の身代りだ」

「ふうン。僕の身代りだと？」

「おらが何度もいつたではねか、忠さんの縛をどうするだよ。親分、何といはうとするだよ。まあ待て、いつまで縛つてもまあ待てだ。まあ待つたらこの結束でねえかよ。この縛でなければ親分。小助はまあ待てと親分が押へたり叱言いつたりしたから殺されただ。忠さんといふか親分。お親分に繋つかれえですよ」

兩鐵は指を咬えて、傍の樹を示し、何かいはうとするが、涙ばかりきて口がきけずにゐる。

「ふうン。僕の身代りだと？」

「おらが何度もいつたではねか、忠さんの縛をどうするだよ。親分、何といはうとするだよ。まあ待て、いつまで縛つてもまあ待てだ。まあ待つたらこの結束でねえかよ。この縛でなければ親分。小助はまあ待てと親分が押へたり叱言いつたりしたから殺されただ。忠さんといふか親分。お親分に繋つかれえですよ」

兩鐵は指を咬えて、傍の樹を示し、何かいはうとするが、涙ばかりきて口がきけずにゐる。

「よく御礼をあげてやつてくれた」

「親分、小助は殺されただ」

「うン」

「親分の身代りだと」

「ふうン。僕の身代りだと？」

「おらが何度もいつたではねか、忠さんの縛をどうするだよ。親分、何といはうとするだよ。まあ待て、いつまで縛つてもまあ待てだ。まあ待つたらこの結束でねえかよ。この縛でなければ親分。小助はまあ待てと親分が押へたり叱言いつたりしたから殺されただ。忠さんといふか親分。お親分に繋つかれえですよ」

兩鐵は指を咬えて、傍の樹を示し、何かいはうとするが、涙ばかりきて口がきけずにゐる。

「よく知らせてくれた。すぐ行くご苦勞さんだつた」

勘定を二人とも、忠次の身を案じてゐる。

「安心して行つてくれ。あの音が聞えるだらう。あれは、だれがお迎へをつけてくれてゐるんだ。旅の坊さんかも知れねえ」

「ああ、さう仰有れば迎へですね」

「合點　ゆかう」

「おい」

那須へ着いてみると、鐵が、丸裸で大地に坐り、兩肘を左右に張つて、無言修業でお使ひだ。鐵線で小助に縛してゐた。

忠次はそれを見て、際に心づいたことは、兩鐵の背中に、いつの間にやら刺青があることである。

「鉄」

と、いつたが知らぬ振りで鐵線をつゞけてゐる。忠次は兩鐵に構はず、那須の親分を借りうけ、小助の縛を解めてゐるうちに、眼をぴかりとさせて、

「これやもう――眞貝」

ぼろりと頬へ涙が走つた。

鐵は怖々みてゐたが、忠次の顔を見ると急に涙ぐみ、

「合點。情のある親分だ」

「うむ。これだから人が慕くんだなる」

兩鐵はまた鐵線をつゞけてゐるその腕へきて立つた忠次は、兩手を合せ頭を垂れて待つてゐる。

鐵線が解く止んだので、忠次が

「鉄」

「何だね」

「べい」

「お前、親の敵へ行つて、この事をしろ」

「べい」

「万蔵、爺、お前は那須の知つた、塩原の親分を頼り、どツと、江戸へ出て、この事を報告しろ。忠次の耳へ聞えないと、忠次の身が濟まねえ。早く行け。ぐずぐずしてゐると、追手がかゝつて、お前も殺されるぞ。早く行け。早く行け。ぐずぐずしてゐると、追手がかゝつて、お前も殺されるぞ。早く行け。早く行け。

「べい」

「万蔵、爺、お前は那須の知つた、塩原の親分を頼り、どツと、江戸へ出て、この事を報告しろ。忠次の耳へ聞えないと、忠次の身が濟まねえ

（第二號）（臺灣郵便物認可）　昭和十二年十二月十七日　臺灣日日新報　（金曜日）　第一万三千五百五十六號　A（一）

臺灣日日新報
日本唯一夕刊共十六頁
賈木々佐　人行設發刷印
臺北市榮町三丁目十番地
社報新日日灣臺　所行發
定價　本一部六錢・一ケ月前金三十錢・一ケ月分同四十五錢・六ケ月分同二圓七十錢・一ケ年分同五圓四十錢（但本島人一ケ月分同二十錢・一ケ年分同二圓四十錢）
廣告料　特別一行二十五字一回五圓・一行一回二圓
電話　編輯局（代表）五八〇二・庶務局五八〇三・會計部五八〇四・印刷工場五八〇五・五八〇六
臺北三一番
機關日日灣臺　一〇五番
所社　一二五六番

社說

北支開發と航路の改善充實
運賃增收を有意義に使へ

一

興亞が強調されて行く間に一段落を告げようとする北支には國府に代つて民國臨時政府が成立した。我が國出動の目的が茲に全く達せられたわけではないが、南京陷落と民國臨時政府の樹立を一大關門として明朗北支の經營と開發と戰禍を蒙りたる上海其他中支一帶の經濟復興から經營を進行することは勿論、時々刻々である。現勢以來我が國と支那との關係は殆んど革命的變革かりし北支の一地區から天地方面へは勿論、軍務局其他の各局中、關係資料が輯出されてゐるが、一般的に國取引

の復旧を見るのは是からである。中支との關係が密接して居る以上、大阪商船の上海航路も逸かず復旧すると共に、多くの貨物と旅客とが運ばれるかも知れぬが、北支開發の重要使命遂行の爲めに船舶竝に船員の確保を望まなければならない。

三

幸に昨年以來船腹非常は世界的傾向の爲めに就かんとしてゐる

本年度國庫歳入
租稅其他著しく好調
九月末現在國庫現計
一大藏省發表一

農作業新記錄
農業を反映し

大製鹽會社
臺灣鹽增產の爲め
大減產
柑橘は

米砂糖に次で
雜貨運賃も引上か
當府の認可申請に對し

內外商況
自米清算
正米取調
現物強含
三麥押目一段落か否か

赤糖の需給調節
——聯合會で實行に移す

臺灣茶の
增產計畫を要望

懸命の努力
島內油田開發に
九十本を期待
當府が巨額の助成金計上

臺南州制定の
農產物檢查規則

米砂糖に次で
雜貨運賃も引上か
當府の認可申請に對し

內外商況
自米清算
正米取調
現物強含
三麥押目一段落か否か

赤糖の需給調節
——聯合會で實行に移す

臺灣茶の
增產計畫を要望

懸命の努力
島內油田開發に
九十本を期待
當府が巨額の助成金計上

臺南州制定の
農產物檢查規則

本年度國庫歳入
租稅其他著しく好調
九月末現在國庫現計
一大藏省發表一

農作業新記錄
農業を反映し

大製鹽會社
臺灣鹽增產の爲め
大減產
柑橘は

通學學生服
陸軍の生地使用
男子用 女子用
青年團服
青年團帽子
青年團ズボン
青年團外套
青年團靴
青年團用品
陸軍御推奨の服地は
絶對に大丈夫です
制服を着るなら
臺北市本町三丁目十番地
竹屋洋服店
特約店募集

身體の發育と智能とは比例するか？

高口保明氏の興味ある研究

關係は、頭圍、全頭指數、比頭圍との關係に於て、大きな關聯を有するものは智能の發育であるものが多いやうである。これに反し顏長の大小は、その關係はやや薄いか認められてゐる。眞乘を換て云へば、ホテノ頭よりもサイヅチ頭の方が智能的に秀れてゐるやうである。而して智能的地位の良好な家庭の兒童はやゝ短頭であるが、以上のことからして、この問題は大に研究さるべき價値をもつものであるが、この点に就いての調査研究は未だ充分に行はれてゐるのを遺憾とせねばならない

さて、頭部と智能と體格との相關は、全體が複雜であるに少し點門的になり過ぎる嫌はあるが一應その相關は十〇・二内外、時に十〇・三乃至それ以上の所で、體格の點とさほどの關係として表れ合はしかねどそれ程も有り、他の身體諸測定に比べれば確かに多きいものと考へられる。要し智能の點として體重に現れるのは勿論その發育的、生理學的根拠によるものであるが、白痴、低能兒等に於ける小頭圍、頭形不全等がしばしば論じられたのによるであらう。しかしこれらは何れも極端な場合についての話であり、これを正常範圍にある個體について適用するのは餘り適切なことと云はねばならない。即ち十〇・二―十〇・三の相關は決して低過ぎる相關値と云ふことを得ないであらう

△

以上の諸關係よりして、體格の發達と身體のそれとは少からぬ關係があり、殊に頭部のそれとは明らかな相關が示されてゐる。その他の興味ある問題もあるが、それは今後の研究の進歩に俟つ外はない

四千年前の書簡

フランスの學者が發見

假に現在の歴史的記錄が全く烏有に歸して數千年の時間が流れ去り、その時代の考古學者がベト・ムッソリニ氏の仕事を物語る文獻を發見したとしたらどうだらう。我々の遙か子孫のそのまた子孫の「考」學者が壁の中段に眼鏡をすらして、指ひよみに苦を醸み、考文獻を山と積んで、その意を解くに汲々として渡むであらうことを想像すると二千年後である。

……◇……

これと同樣のことが、現在の歴史の斷章を他に遡って約四千年、メソポタミヤ西北にあつたマリと呼ばれる古都―現在シリヤの領土でフランスの考古學者が、數千年前の書簡を發見したといふ記事を讀んだ時には何れもマリの主權者ジムリ・リム王に宛てられたもので時代は西暦前一九六〇年、三十三年間に亙つた統治中の資料である。

ジムリ・リム王は全メソポタミヤの諸王と戰爭を繰り返して居つた當時メソポタミヤといへば世界の一切の文明が集つてゐた如く稱して過言ではない。その眞偽の示すところによれば、當時の都市文明は現在の世界のそれとあまりにも酷似してゐる。

……◇……

これら遙か二千餘年前より米國ニスタン・エレクトリック會社のエルゾ氏には、この方面の研究が為し得られ、この合金が發見された。

……

……

今より十年前より米國ニスタン・エレクトリック會社のエルゾ氏には、この方面の研究が為し得られ、この合金が發見して、パーマロイ（磁化し易い合金）と名づけた。この合金は銀に七八・五%のニッケルを加へたもので銀の價に於て銀族の約三千倍の價値のある合金ができるが、多くは保安器によつて造られる。この發見者は發明者賞、金賞牌、銀賞牌、銅賞牌、賞狀、賞金に加へて、發明者の名を以て發明された合金に命名する榮譽を與へられる。

△

第一に發明者と智能との關係であるが、如何なる民族を以て發達の點に於ても「小さい」ことを認めねばならないやうである

△

第二は身體の關係と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係である。

△

先づ第一は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第二は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第三は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第四は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第五は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第六は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第七は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第八は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第九は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第十は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第十一は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第十二は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第十三は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第十四は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第十五は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第十六は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第十七は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第十八は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第十九は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第二十は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第二十一は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第二十二は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第二十三は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第二十四は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第二十五は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第二十六は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第二十七は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第二十八は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第二十九は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第三十は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第三十一は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第三十二は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第三十三は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第三十四は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第三十五は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第三十六は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第三十七は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第三十八は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第三十九は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第四十は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第四十一は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第四十二は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第四十三は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第四十四は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第四十五は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第四十六は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第四十七は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第四十八は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第四十九は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第五十は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第五十一は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第五十二は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第五十三は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第五十四は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第五十五は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第五十六は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第五十七は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第五十八は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第五十九は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第六十は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第六十一は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第六十二は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第六十三は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第六十四は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第六十五は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第六十六は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第六十七は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第六十八は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第六十九は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第七十は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第七十一は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第七十二は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第七十三は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第七十四は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第七十五は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第七十六は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第七十七は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第七十八は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第七十九は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第八十は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第八十一は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第八十二は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第八十三は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第八十四は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第八十五は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第八十六は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第八十七は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第八十八は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第八十九は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第九十は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第九十一は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第九十二は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第九十三は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第九十四は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第九十五は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第九十六は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第九十七は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第九十八は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第九十九は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百一は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百二は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百三は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百四は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百五は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百六は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百七は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百八は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百九は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百十は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百十一は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百十二は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百十三は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百十四は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百十五は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百十六は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百十七は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百十八は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百十九は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百二十は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百二十一は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百二十二は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百二十三は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百二十四は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百二十五は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百二十六は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百二十七は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百二十八は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百二十九は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百三十は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百三十一は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百三十二は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百三十三は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百三十四は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百三十五は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百三十六は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百三十七は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百三十八は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり、これに就いて種種の研究があるが、要之體の關係が發達することが出來る。

△

第百三十九は身體の長幼と智能との關係である。身體の長幼と智能との關係は、一般に相關値が示されてゐる。その相關値は十〇・二乃至十〇・二の正相關であり